

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム徳ちゃん

作成日:平成30年3月9日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	運営推進会議活かした取りくみをする。 利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告し話し合いをする。	ヒヤリハットや事故等の件数報告に加え、改善策(予防策)等も、議題に挙げ、より透明性の高い運営につなげていく。	運営推進会議や、ケース検討会でヒヤリハットや事故等の報告を行い、予防策を議題としてあげる。	3ヶ月
2	35	災害時、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を考える。	今後、自然災害についても、防災マニュアルにそって、訓練を計画し、実施につなげ、必要に応じてマニュアルを見直す。	災害時の対策を考え、防災マニュアルにそって訓練を計画し実施する。 避難場所や昼夜を問わず利用者が避難できる方法を検討する。	3ヶ月
3	45	入居者の高齢化に伴い、重度の方も入浴しやすい、浴槽の高さ等を検討する。一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、個々にそった支援をする。	入居者の高齢化に伴い重度の方も増えており、浴槽の高さ等について、職員や入居者に使い勝手についての意見を聴取し、検討する。	入居者が入浴しやすい浴槽、浴室を検討する。 入居者からの希望を聴取する。 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、個々にそった支援をする。	6ヶ月
4	54	居心地よく過ごせる居室の配慮をする。 自室に置いているポータブルトイレは入居者の使い勝手をたずね、未使用時の配慮をする。	居室において、日中使用をしないポータブルトイレについては、入居者へ使い勝手をたずね、未使用時は、目かくし等をする配慮をする。	日中使用しないポータブルトイレは、サンルームに置く。 布やビニール等でカバーを作り、目かくしをする等、居心地よく過ごせる居室の配慮をする。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。